



主催：数電機連携プログラム推進室

数理科学的発想と工学的発想を兼ね備えた
理工横断型人材育成をめざして

第15回

数電機キャリアパスセミナー

開催日： 2011年12月7日（水曜日）

開催時間： 16:30-17:30

（17:30-18:30 懇談会・討論会）

開催場所：首都大学東京12号館106教室

講師：松井 哲郎 氏（富士電機（株））

講演題目：「数理応用技術の研究から
実用化までの取り組み」

講演概要

企業の中で、どのようなプロセスを経て研究開発が行われ、製品になっていくのか？企業の研究には、事業に貢献することが強く求められますが、そのために、どのようなプロセスを経て行われているのでしょうか。本セミナーでは、数理応用技術の研究開発を取り上げ、その具体例としてニューラルネットワークを応用した変圧器の余寿命推定を題材として、前半では研究開発成果について技術的な観点から、後半では研究開発から実用化までの取り組みプロセスの観点からご紹介します。

主催：数電機連携プログラム推進室

（首都大学東京・理工学研究科、

数理情報科学専攻・電気電子工学専攻・機械工学専攻）

192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

問い合わせ先：数電機連携プログラム推進室

Tel:042 (677) 2458 内線(3138) （担当：酒井） E-mail: sakai-t@tmu.ac.jp